

歴史と文化を尊ぶ町

城西まちづくり計画Ⅱ（後期）

令和8年4月1日～令和13年3月31日



ドローン画像提供：丸亀城管理室

天守閣のある町城西

後期「まちづくり計画Ⅱ」の策定に当たって

天守閣のある町、城西地区で暮らす私たちの「まちづくり計画Ⅱ」（令和３年度からの１０年計画）は、前期計画を終え、令和８年度から後期計画に入ります。

前期計画中は、「まちづくり計画Ⅱ・策定委員会」のメンバーを中心に設置した「まちづくり委員会」を適宜開催して、文化・福祉・環境・防災・見守り活動など、多岐にわたるコミュニティの実施事業を話し合ってきました。又、毎年５月に開催される天守閣のある町城西の総会でも、前期計画の進捗状況などを各部から報告し、協議を進めながら、住民の皆さまと話し合い、共に歩んで参りました。現在、わが町には、約５,２００人、約２,４００世帯の住民の皆さんが暮らしています。世代も、暮らし方も様々ですが、「この町が好き」「安心して暮らしたい」という気持ちは、皆さまと同じです。これからの地域社会は、少子高齢化が進み、大雨や南海トラフ地震などの自然災害への備えも、ますます重要になって来ます。後期まちづくり計画では、引き続き「心ふれあう住み良い町」という将来像を目指して、次の４つの目標を柱として、皆さまと一緒に後期計画に取り組んで参ります。

- ①歴史と文化を学び伝える町づくり
- ②安心・安全に暮らせる町づくり
- ③生きがいを持って暮らせる町づくり
- ④誰もが参加できる町づくり

これからも、住民の皆さまと顔を合わせ、声を掛け合って、笑顔があふれる城西をつくって参りたいと思います。引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和８年５月

天守閣のある町城西 会長 宮脇 隆

城西まちづくり計画Ⅱ“後期”スタート!!

前任の宮脇 隆会長を中心に、先輩各位が知恵を絞り、汗を流してここまで城西地区のまちづくりに取り組んで来られました。心から敬意を表します。

これを引き継ぎ、熱意のこもったバトンを受け取って、ここからは私が会長を務めさせていただきます。失速することなく、皆さまとともに懸命に走り抜いてまいりたいと存じます。

内外の情勢は混沌の度を増しており、大都市ですら、開発や経済が停滞していると言われています。東京と周辺県に人口の3分の1が集中し、少子高齢化に歯止めがかからないまま、地方の衰退がそのまま、国の存亡にかかわる様相です。

地方もまた、有名な観光地という資源や企業立地といった従来の価値観から脱皮し、わがまちは何で輝くのか、住みよさをどう作るのかを住民が考え、独自のアイデアを発揮するという、逆に言えばほんらいの地方自治の姿が今こそ求められているとも言えましょう。長らく私も行政に携わってきましたが、その経験から、まちづくりは市役所がするのではない、市役所は住民活動のステージを準備し、支えるのだとの信念を持っています。

まず、いやおうなしにやって来る大地震などの災害への危機意識と万全の対策を施し、これを基盤に、これから始まるまちづくり計画“後期”を具現化してまいりたい。その陣容を拡大し、若い方々の参画を強力に進めてまいります。時あたかも、「天守閣のあるまち城西」では、令和12年に石垣復旧工事が完了する見込みです。これからの計画推進期間、これにシンクロさせた勢いある市民活動を展開してまいります。皆さまのご参加、ご意見ご指導を心からお願い申し上げます。

令和8年6月

内 田 俊 英



目 次

歴史と文化を尊ぶ町城西 まちづくり計画Ⅱ（後期）

第1章 城西地区の概要

1. 城西コミュニティのあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 人口・世帯数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3. 天守閣のある町城西組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第2章 まちづくり計画

1. まちづくりの目指すもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
2. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 後期見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4. 城西コミュニティ事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5. 各部のまちづくり実行計画
 - 【総務部】地域住民相互のふれあいと活性化の促進・・・・・・ 7
 - 【福祉部】誰もが安心して暮らせるまちづくり・・・・・・ 9
 - 【保健部】健やかな心と体でいきいき生活を送る・・・・・・ 11
 - 【文化部】地域への情報発信と伝達・・・・・・ 13
 - 【環境部】環境美化運動と交通安全の推進・・・・・・ 15
 - 【体育部】運動やスポーツで育む豊かな心と元気な身体・・・・・・ 17
 - 【子ども部】子ども達が楽しく、安全に過ごせるまちに向かって・・・・ 19

第3章 計画策定資料など

1. 第28回プルヌス城西文化祭におけるアンケート・・・・・・・・・・ 21
2. 城西まちづくり計画Ⅱ 策定委員会 組織図・・・・・・・・・・・・ 26

第1章 城西地区の概要

1. 城西コミュニティのあゆみ

【歴代コミュニティ会長】

歴代	氏名	在任期間
初代	大西 義松	平成9年5月～13年5月
2代	村上 保	平成13年5月～16年5月
3代	大西 義松	平成16年5月～20年5月
4代	岡田 宜明	平成20年5月～30年5月
5代	宮脇 隆	平成30年5月～令和8年5月
6代	内田 俊英	令和8年5月～

【歴代所長】

歴代	氏名	在任期間
初代	真光 勲	平成9年4月～12年3月
2代	楠見 淳	平成12年4月～14年3月
3代	白川 壽典	平成14年4月～19年3月
4代	谷口 忠廣	平成19年4月～25年3月
5代	大西 俊郎	平成25年4月～27年3月
6代	太田 義光	平成27年4月～31年3月
7代	武田 尚	平成31年4月～令和7年12月
8代	大岡 隆彦	令和8年4月～

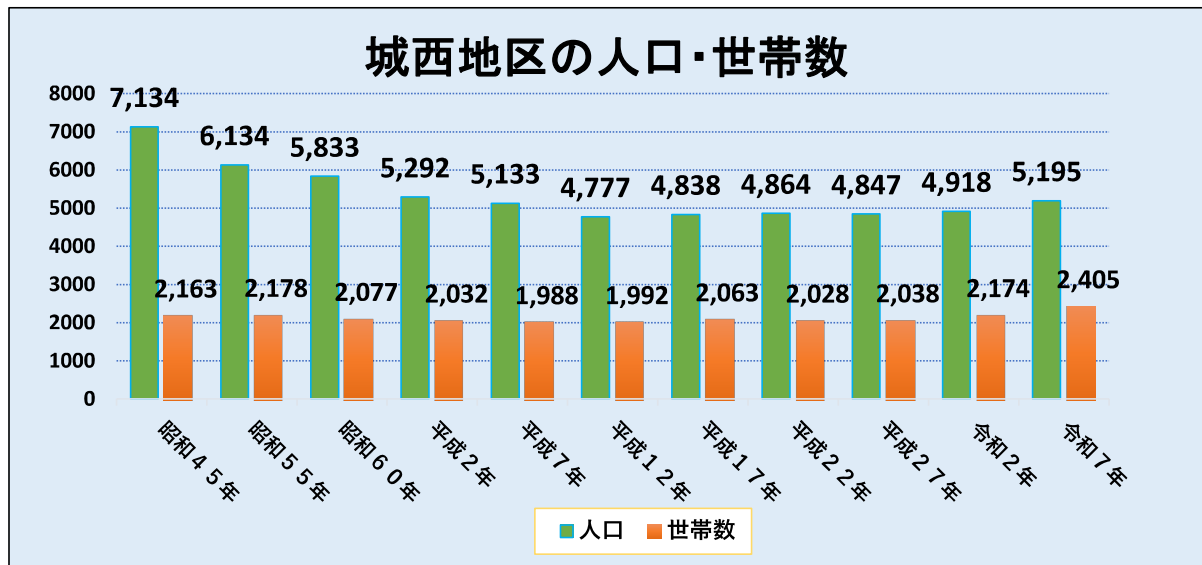
- 平成6年 3月 城西地区社会福祉協議会を結成
城西公民館の設立運動をスタート
- 7月 城西地区社協だより（じょうせい）第1号発行
- 10月 城西地区公民館設立準備委員会発足
- 平成8年 10月 城西公民館起工式
- 平成9年 4月 城西コミュニティ会則制定
- 6月 城西公民館竣工式
- 平成11年 2月 第1回 城西公民館まつり（梅まつり）開催
- 10月 城西公民館が名称変更⇒城西コミュニティセンターへ
生涯学習を兼ねコミュニティセンターへ生まれ変わる
【天守閣のある町城西】に名称決定
- 11月 国旗掲揚台と記念碑が竣工
丸亀市制施行100周年記念ふるさとづくり事業の一環



- 平成13年 12月 城西小学校創立100周年記念式典（実行委員会会長：大西 義松氏）
- 平成14年 6月 第1回ファミリーウォーキング（丸亀城）
- 8月 丸亀市長との意見交換会（第1回：村上会長他70名）
- 平成16年 10月 天守閣のある町城西が香川県社会福祉協議会会長（県知事）表彰

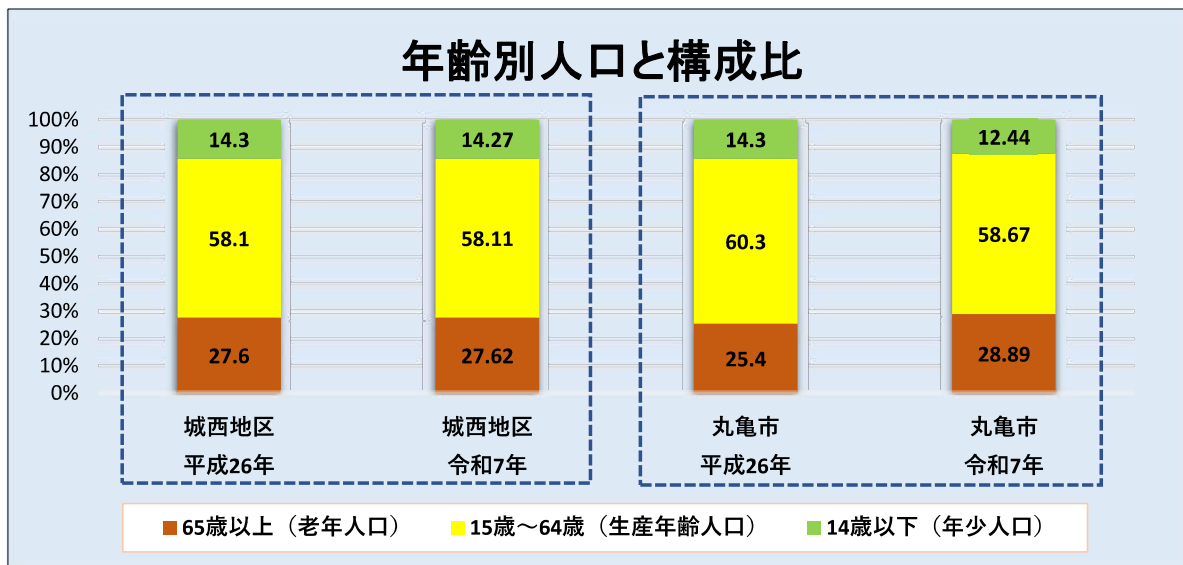
平成 18 年	5 月	第 57 回丸亀お城まつり城西コミュニティ・城西小児童・P T A・教職員丸亀城歴史物語の行事に出演・参加する。 【参加者総勢 302 名】小学校（職員含 132 名 P T A 48 名、獅子連 60 名コミュニティ 62 名）
平成 19 年	11 月	記念誌「プルヌスの 10 年」の発行
平成 21 年	9 月	丸亀市立西中学校新校舎の完成
平成 25 年	11 月	第 1 回城西地区防災訓練の実施
平成 27 年	3 月	丸亀市立城西小学校新校舎の完成
	12 月	歴史と文化を尊ぶ町城西 第 1 期 まちづくり計画の策定
平成 28 年	10 月	城西コミュニティ：ホームページ立ち上げ
平成 30 年	3 月	「プルヌスの 20 年」：城西コミュニティだより臨時増刊号発行
	5 月	天守閣のある町城西が青少年育成香川県民会議会長（県知事）表彰
	7 月	丸亀城のおびぐるわ帯曲輪石垣崩落（1 次崩落）、10 月に 2 次崩落
平成 31 年	2 月	天守閣のある町城西 丸亀城石垣修復寄付
	4 月	丸亀お城まつり協賛会より第 71 回お城まつり【大名行列】業務委託の打診を受け準備をスタート【城西は 13 年ぶり】
	4 月	城西婦人会が丸亀城石垣修復寄付
令和 2 年	1 月	天守閣のある町「じょうせい」だより第 100 号発行
	3 月	新型コロナウイルスの世界的拡大 コミュニティセンター他、公共施設の使用休止
	5 月	第 71 回お城まつり【大名行列】中止 チャレンジデー、出雲大社バスハイク等、各イベント中止 城西地区連合自治会総会、天守閣のある町城西総会の中止
	6 月	全国緊急事態発令解除：コミュニティセンター利用休止解除
令和 3 年	12 月	防犯カメラ設置
令和 4 年	7 月	天守閣のある町「じょうせい」だより 7 月号から全面カラー印刷に。
令和 5 年	10 月	「城西まつり」終了（コロナのため令和元年をもって休止）
令和 6 年	5 月	婦人部が廃部になり、総務部が事業を引き継ぐ。
令和 7 年	11 月	第 1 回 HUG 訓練（避難所運営ゲーム）を開催
	2 月	インスタグラム開設
令和 8 年	5 月	人権部が廃部になり、総務部が事業を引き継ぐ。
	8 月	太陽光パネル設置

2. 人口・世帯数の推移



【資料：令和7年11月1日＝丸亀市提供】

城西地区の人口は、昭和45年以降減少傾向にある。平成12年頃から微増微減で横ばい状況になっており、世帯数は変わらず少子化と生産年齢層から都会集中型となっていることが要因と思われる。また、城西地区内にマンション増加の特徴がある。



【資料：令和7年11月1日＝丸亀市提供】

城西地区は、老年人口、年少人口、生産年齢人口とも横ばい状態であるが丸亀市全体では、老年人口は増加し、年少人口と生産年齢人口は減少傾向にある。

◇城西地区の産業別による事業所数

城西地区の事業所数は517箇所あり、丸亀市全体4,274箇所の12%を占める。富屋町・浜町・大手町等ではサービス業が大半を占めており、製造業の事業所数はわずかである。

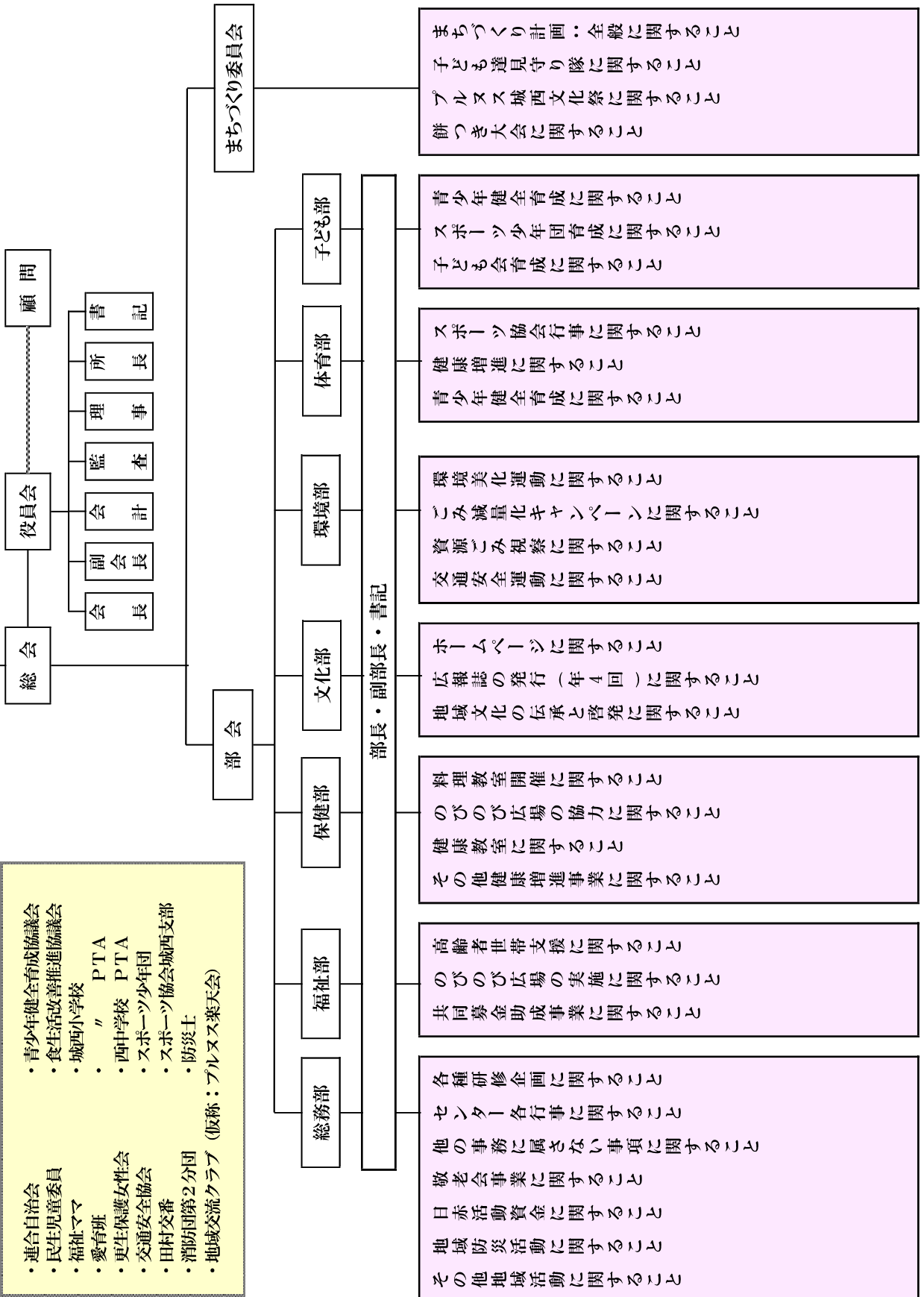
【資料：令和3年度経済センサス活動調査】

3. 天守閣のある町城西組織図

(城西コミュニティ)

構成団体一覧表 (順不同)

- ・連合自治会
- ・民生児童委員
- ・福祉ママ
- ・愛育班
- ・更生保護女性会
- ・交通安全協会
- ・消防団第2分団
- ・地域交流クラブ (仮称：プルスス楽天会)
- ・青少年健全育成協議会
- ・食生活改善推進協議会
- ・城西小学校
- ・" PTA
- ・西中学校 PTA
- ・スポーツ少年団
- ・スポーツ協会城西支部
- ・防災士



第2章 まちづくり計画

1. まちづくりの目指すもの

すべての地域住民が、安心して心豊かに暮らすことができる社会を実現するため、城西コミュニティとして今後10か年間に取り組む目標は次のとおりである。

(1) まちの歴史と文化を学び伝えるまちづくり

城西地区に位置する築城400年余の丸亀城は、自然の小山を利用して築かれその標高は66mであり、現存する木造天守12城のひとつで貴重な名城である。

平成30年の豪雨や台風の影響で崩落した石垣の修復が現在進められている。

また、江戸中期以降、金毘羅参りで栄えた丸亀街道や妙法寺（富屋町・蕪村寺）、会下天満宮（中府町）などの神社仏閣は、人々の信仰が息づいている貴重な史跡である。これらの地域にある歴史や文化を学び伝えるまちづくりを目指す。

(2) 住み慣れた地域でみんなが安心して安全に暮らせるまちづくり

- ① 日頃からお互いに思いやりの心を持ち、通学路の点検・整備・環境美化に努めながら、常に高齢者や子ども達の見守りを続ける。
- ② 災害に備え防災意識を高め危機管理を怠らず、共に支えあうまちづくりを目指す。
- ③ 各自が健康管理に努めて地域で共に生活し、いきいきと心豊かに暮らせることを目指す。

(3) みんなが生きがいを持って暮らせるまちづくり

コミュニティ等の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動に参加して人と人との交流を持つ。また、講演会・学習活動などに参加して芸術や文化に触れる機会を持ちながら、皆が生きがいを持って暮らせるまちづくりを目指す。

(4) 誰もが参加できるまちづくり

あらゆる世代の男女が、性別や年代に関係なくお互いの交流を通して仲間づくりのできる活動を目指す。

2. 計画期間

10年間（令和3年4月1日 ～ 令和13年3月31日）

前期：令和3年度 ～ 令和7年度

後期：令和8年度 ～ 令和12年度

※前期終了後の中間期において、必要があれば後期の見直しを行う。

なお、毎年度開催される『天守閣のある町城西』総会で各部の具体的施策を報告し、協議を行う。

3. 後期見直し

次下の「各部のまちづくり実行計画」に示す。

4. 城西コミュニティ事業計画

(※令和8年度の事業計画より抜粋)

月	事業名	実施部・団体名等
4月	城西だより 4月号	文化部
	母子愛育班 総会	愛育班
5月	日赤活動資金	総務部
	ゴキブリホウ酸だんご作り	環境部
	城西地区連合自治会総会	総務部
	バランス料理教室（一般）	保健部
	『天守閣のある町城西』定期総会	総務部
	チャレンジウィーク	体育部
	高齢者世帯支援	福祉部
6月	資源ゴミ現状視察	環境部
	バスハイク	体育部
	城西だより 7月号	文化部
7月	『さわやかロード』（清掃活動）	環境部
	出前講座 もしもノートで人生設計	総務部
	HUG訓練	総務部・防災士
	出前講座 正しい自転車の乗り方	環境部
	視察見学会	環境部
	バランス料理教室（親子教室）	保健部
8月	まちづくり委員会 子ども達の見守り隊意見交換会	総務部
	出前講座 音楽療法	保健部
	高齢者世帯支援	福祉部
9月	『さわやかロード』（清掃活動）	環境部
	八朔だんご馬づくり見学会（城西小学校）	総務部・保健部
	敬老お楽しみ会	総務部
	連合自治会研修会	総務部
	月見の会	総務部・子ども部
	城西だより 10月号	文化部
10月	赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金	社会福祉協議会
	防災訓練（丸亀高校：主催）	コミュニティ役員・防災士
	まちづくり委員会 出前講座	総務部
	ミニキャンプ	子ども部
	城西地区防災訓練	総務部・防災士
	城西まつり	子ども部・総務部
11月	シニアカフェ	保健部
	インドアベタンク大会	体育部・城西スポーツ協会
	バランス料理教室（一般）	保健部
12月	まちづくり委員会 防災食づくり	総務部・保健部・防災士
	青少年健全育成研修会	総務部
	年末大掃除	総務部
	『さわやかロード』（清掃活動）	環境部
	餅つき大会	総務部
	城西だより 1月号	文化部
1月	『昔遊びの伝承』：城西小学校	総務部
	バランス料理教室（男性）	保健部
	高齢者世帯支援	福祉部
2月	『さわやかロード』（清掃活動）	環境部
	まちづくり委員会 介護予防と健康なまちづくり	健康課・地域包括支援センター
	プルヌス城西文化祭（梅まつり）	総務部
	毎週 木曜日：長生き体操	福祉部
毎月	第1 火曜日：のびのび広場	福祉部・保健部・健康課
	第3 水曜日：健康相談・介護予防のための体操教室	健康課・地域包括支援センター
	第3 金曜日：にじいろカフェ	地域包括支援センター

5. 各部のまちづくり実行計画

【総務部】

地域住民相互のふれあいと活性化の促進

総務部では地域の方々が安心して、心豊かに暮らすことができる社会を実現するため、コミュニティの各部及び各構成団体から協力を得て、城西まつり・プルヌス城西文化祭の開催や市長懇談会・城西地区防災訓練等を通して、地域住民相互の「ふれあい」と「活性化」を引き続き進めていく。

1 にぎわいとふれあいを目指して



プルヌス城西文化祭（梅まつり）

（1）現 状

- ① 城西小学校 PTA が中心となって毎年秋に行われていた「城西まつり」は令和5年度に終了している。
- ② プルヌス城西文化祭、通称「梅まつり」は毎年プルヌスの愛称に合わせて梅の時期に実施し、生涯学習のクラブの舞台発表や出展及び地域の子どもから大人までの作品でにぎわっている。

- ③ 城西小学校3年生の児童が、郷土に伝わる「八朔だんご馬作り」について製作実演を見学し、学んでいる。
- ④ 市の敬老会中止を受けて、地域の高齢者の長寿をみんなでお祝いし、楽しんでもらう「敬老お楽しみ会」を開催している。



八朔だんご馬作り

（2）今後の取り組み

地域のにぎわいには世代を超えた地域住民相互交流が不可欠であることを再認識し、「城西まつり」を新体制にて実施する。さらにこれまでの行事を継続しつつ、各部及び地域の有識者と協力しながら、地域の方々がより深くふれあい交流できるように努める。

2 安心・安全なまちづくりを目指して



城西地区防災訓練

（1）現 状

子どもの安心・安全については、前期において子ども達見守り隊が発足したことにより通学路の点検、見守り活動が組織的に展開され環境整備がしやすくなってきた。一方、今後予想されている南海トラフ地震等の災害については訓練を実施しているが住民の防災意識向上には未だ課題が残っている。

（2）今後の取り組み

全員参加型の実践的な防災訓練を体験することで、互いの顔の見える関係で個々の防災スキルを向上させる。また子ども達の見守り活動を若い世代にも引き継いで継続していけるよ

うに努める。地域の方々に負担の少ない「ながら見守り」を呼びかけ安心・安全なまちづくりを目指す。

3 コミュニティの活性化で生きがいを持てるまちづくりを目指して

(1) 現 状

市長懇談会、チャレンジウィークへの参加やバスハイクなどを実施し、地域の方々の交流を図っている。また、総会や役員会などを通して情報を交換・共有しコミュニティの活性化に取り組み、地域の方々が生きがいを持って過ごせるよう努めている。

(2) 今後の取り組み

構成団体相互の交流や意見交換を活発に行い、これまでの事業を時代にあわせながら継続する。コミュニティの活性化には若い力が不可欠のため、参加の声かけを積極的に行い全世代が生きがいを持てるまちづくりを目指す。

アクション プラン	具体的テーマ	目 標 （具体的施策）	
		現 状 令和3年度～令和7年度	後 期 令和8年度～令和12年度
地域住民相互のふれあいと活性化の促進	にぎわいとふれあいを目指して	「八朔だんご馬作り見学会」 「敬老お楽しみ会」 「城西まつり」令和5年度終了 「餅つき大会」 「梅まつり」 等の行事継続	➡ ➡ 「城西まつり」新体制にて実施 ➡ ➡
	安心・安全なまちづくりを目指して	防災訓練 防災講演会 地域の方へ子ども達の見守り呼びかけ 子ども達見守り隊発足	➡ ➡ 防災センター見学 現状の把握 対策強化
	コミュニティの活性化で生きがいを持てるまちづくりを目指して	各種行事の継続 各構成団体との意見交換	継続的发展 若い世代のコミュニティへの参加声かけ



子ども達見守り隊



餅つき大会

【福祉部】

誰もが安心して暮らせるまちづくり

福祉部では、地域の方々が快適で安心して暮らせるまちづくりのために高齢者福祉、児童福祉、乳幼児福祉の対策について取り組む。

1 高齢者福祉

(1) 現 状

- ① 城西地区の高齢化率は、丸亀市全体の28.1%と横ばいである。コミュニティが主催する行事に、参加できない高齢者も多くなっている。
- ② 年3回（6月、9月、2月）、民生委員の協力で75歳以上の一人暮らしの方に粗品をお届けし、お声かけと見守りを行っている。
- ③ 認知症や障がいを持つ家族の情報は少ないが、色々な機会を通してコミュニケーションを取り、相談を受けながら、市や関係団体との架け橋に努めている。



長生き体操

- ④ 住み慣れた地域で生き生きと過ごせるように、高齢の方を対象とした「長生き体操」を、平成29年2月から毎週木曜日の午後にコミュニティで開催し、毎回多くの方が参加している。

(2) 今後の取り組み

- ① 丸亀市や関係団体とともに連携しながら、高齢の方への安否確認、声かけ、見守りを行う友愛訪問に努め、より効果的な支援を行っていく。
- ② 介護コミュニティ事業の一環として、認知症についての理解と知識を深めるための研修やサロンの開催に協力し、認知症の支援に役立てる。



高齢者支援（みそ汁、ふりかけ）

2 児童福祉



昔あそびの伝承

(1) 現 状

- ① 城西小学校の教職員やPTAの方々の協力を得ながら、地域の主任児童委員、愛育班、シニア世代の方々との交流を通して、地域の伝統行事や昔あそびを体験し、伝承している。
- ② 不審者情報、いじめ・SNSトラブル・虐待・自殺、不登校など、児童や保護者を取り巻く環境は厳しくなっている。

(2) 今後の取り組み

- ① 児童や保護者、シニア世代など三世代が交流を深める中で、児童の豊かな社会適応能力が育まれるように支援を行っていく。
- ② 地域ぐるみで登下校の見守り、児童への「おはよう」「さようなら」の声かけなどを行っていく。
- ③ 児童等が気軽に立ち寄れる場所を提供していく。

3 乳幼児福祉

(1) 現 状

コミュニティで毎月第1火曜日に開催されている「のびのび広場」には、毎回多くの乳幼児や妊産婦の皆さんが参加している。

(2) 今後の取り組み

- ① 地域に居住している母子への積極的な呼びかけを行う。
- ② 地域に居住しているシニア世代との交流を図る活動を行う。

アクション プラン	具体的テーマ	目 標 （具体的施策）	
		現 状 令和 3 年度～令和 7 年度	後 期 令和 8 年度 ～令和 12 年度
誰もが安心して暮らせるまちづくり	高齢者福祉 ・ 高齢者世帯支援 ・ 児童との交流 ・ 認知症や障がいを持つ家族への支援 ・ 介護コミュニティ事業への支援	・ 声掛け、見守り、友愛訪問、安否確認 ・ 敬老お楽しみ会の支援 ・ 支援はまだ不十分であるが、市や関係団体との架け橋として協力支援 ・ 長生き体操の実施 (平成 29 年 2 月より毎週木曜日)	➡ ➡ ➡ ➡
	児童福祉 ・ 地域の交流 ・ 地域ぐるみの見守り等の支援	・ 伝統的な行事（八朔だんご馬作り、月見の会、餅つき大会） ・ 昔遊びの伝承 ・ 市や関係団体と協力、支援	➡ ➡ ➡
	乳幼児福祉 ・ 乳幼児や妊産婦の支援	・ のびのび広場の実施 (平成 29 年 2 月より毎月第 1 火曜日) 今後とも妊産婦の皆さんに呼びかけ	➡

【保健部】

健やかな心と体でいきいき生活を送る

保健部ではいきいきと暮らせるよう地域の人々のニーズに答え思いやりを持ち、地域全体で健康づくりに取り組む。

1 健康に関心を持ち、必要な健康診断を受け

自分や家族の健康状態を知る

(1) 現 状

活動を通して、各種健康診断の受診の呼びかけを行うと共に月一回の健康相談やプルヌス城西文化祭で骨密度などの測定を行い生活習慣病予防に役立ててもらっている。

(2) 今後の取り組み

1人でも多くの地域の人達に保健部の活動を周知してもらえるようにあらゆる機会を活用して健康づくりに取り組む。



男性料理教室



防災食

2 よりよい生活習慣を身につける

(1) 現 状

食改（食生活改善推進員）を中心にバランス料理を行っているが、参加者は減少傾向で65歳以上の高齢者が目立っている。

(2) 今後の取り組み

- ① 城西コミュニティだより“天守閣のある町城西”にバランス料理・シニアカフェ・出前講座等の予定を掲載、またSNSを活用することでより詳しい情報取得をしてもらい、働く世代の参加を呼びかけ育成に努めていく。
- ② 災害に備えて防災食作りに積極的に取り組み、段階的に地域の人達に広めていく。

アクション プラン	具体的テーマ	目 標 （具体的施策）	
		現 状	後 期
		令和3年度～令和7年度	令和8年度～令和12年度
健やかな心と体でいきいき生活を送る	健康に関心を持ち、必要な健康診断を受け自分や家族の健康状態を知る ・各種受診率を上げる	健康相談はほぼ同じ参加者（毎月第3水曜日） ・各種がん検診は市の受診率とあまり変わらない	・健康相談を毎月第3木曜日午後から実施 ・地区巡回結核・肺がん検診車を利用して受診率を上げる
	よりよい生活習慣を身につける ・バランスのとれた食生活の推進 ・健康教室への参加	バランス料理教室の開催（一般参加3回、親子1回、男性1回） 生活習慣病・認知症予防などの健康教室 出前講座（年2回）	・バランス料理の案内をコミュニティだより・SNSを活用し参加者を募る ・シニアカフェ、防災食作りを積極的に行う
	安心して子育てができる地区を目指して家族や地域の人とのつながりを大切にする ・季節の行事などを通して家族や地域の人とのつながりを大切にする。	のびのび広場の協力（毎月第1火曜日） 健康チェックの継続 見守りなどの活動 各種行事の継続 ・八朔だんご馬づくりの協力 ・保健部員のスキルアップ研修	・他の部会と連携を図り、コミュニティの各行事に参加協力をする ・保健部員は研修・勉強会を行い知識と技能の向上に努める



シニアカフェ



骨密度測定

【文化部】

地域への情報発信と伝達

文化部では、「歴史と文化を尊ぶ町城西」の特色を活かしたまちづくりに役立つ情報とコミュニティ活動の状況をコミュニティだより『じょうせい』及びホームページ等を活用し発信・伝達している。

1 地域の文化活動とコミュニティだより『じょうせい』の発行

(1) 現 状

地域の情報やコミュニティ活動の様子を役員会・地域担当職員や警察・学校などを通して、情報を交換・共有しつつ協力を得ながら記事にしている。(年4回発行)

(2) 今後の取り組み

必要に応じて増刊号の発行を検討する。特色ある歴史と地域文化の向上に繋がる事業計画を立案・発信し、地域の人々や次世代の子どもたちに文化の伝承と啓発を図る。



コミュニティだよりの発行

2 ホームページ等による情報の発信

(1) 現 状

- ① 地域の文化活動やコミュニティ活動の活性化を図るため、「天守閣のある町城西」のホームページを活用しコミュニティ活動の発信をしている。
- ② 新たなツールとして、公式ライン及びインスタグラムを開設した。

(2) 今後の取り組み

行事予定の周知をより速く送信していくために、新たに開設した公式ライン及びインスタグラムを活用し、幅広い層の地区住民にコミュニティ活動をPRする。

3 中讃テレビ(CVC)への情報提供

(1) 現 状

地域の情報をより多くの方々に伝達するために、中讃テレビ（CVC）への情報提供を行っている。

(2) 今後の取り組み

行事のようすなどを随時発信していく。

アクション プラン	具体的テーマ	目 標 （具体的施策）	
		現 状 令和3年度～令和7年度	後 期 令和8年度 ～令和12年度
地域への情報発信と伝達	地域の文化活動とコミュニティだより『じょうせい』の発行	・歴史と文化に関する情報を発信 ・文化祭や健康に関することなどのコミュニティ活動の発信 （年4回発行）	➡ ➡
	ホームページ等による情報の発信	・コミュニティ活動の発信・更新作業 ・新たなツールとして、公式ラインおよびInstagramを開設し情報発信	➡ ➡
	中讃テレビ（CVC）への情報提供	・メディアへの情報発信	➡



笑いヨガ（中讃テレビにて放送）



天守閣のある町城西
ホームページ



公式ライン開設



Instagram開設

【環境部】

環境美化運動と交通安全の推進

環境部では、地域における生活環境全般の保全と美化推進活動を実施するとともに、交通安全対策と啓発活動に努める。

1 ごみのない美しい町を目指して

(1) 現 状

① ごみの分別が適正か否か

定期的に資源ごみの現状視察を実施した結果、従来より良好になりつつあるが、ごみ収集カレンダー記載以外の不燃物（フライパン、鍋、陶器等）の持ち込みが散見される。

② 町内公園の定期的清掃

ごみ箱等の撤去による空き缶、ペットボトル等の投棄が散見される。



資源ごみ現状視察

(2) 今後の取り組み

① ごみ投棄情報の共有と警告看板設置・広報等による啓発

定期的視察の継続、ごみ処理センター視察見学の実施

② さわやかロード企画への積極的参加

香川県が主催のさわやかロードに賛同し、プルヌス城西前の県道 204 号線の南北 400 メートル区間道路の清掃、草抜きを行う。



ゴキブリハウ酸だんご作り

③ 蓮池公園前の市道及び番丁界限の清掃・草抜き。

④ 家庭環境維持

家庭環境維持のためゴキブリハウ酸だんごを作り配布する。

2 交通安全の推進

(1) 現 状

① 従来から交通量の多い道路では、日頃から事故に遭遇するケースが後を絶たない。

② 子ども達の通学状況を把握しながら、通学路の安全点検等を行っている。

(2) 今後の取り組み

① 交通安全教室の実施

令和 8 年 4 月より 16 歳以上の自転車の交通違反に対して交通反則切符制度が開始されるため、特に自転車の乗り方については必要になる。

② 幟旗の設置及び通学路の再点検

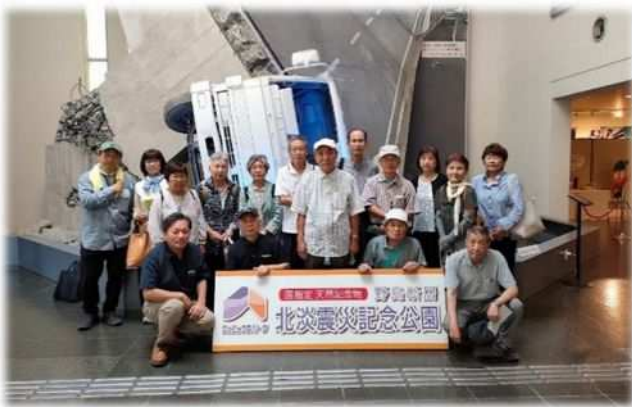
③ 丸亀警察署との協力



子ども達見守り隊

- ④ 夜間歩行者等への反射材配布
- ⑤ 下校時の子ども達の見守り

アクション プラン	具体的テーマ	目 標 （具体的施策）	
		現 状 令和3年度～令和7年度	後 期 令和8年度 ～令和12年度
環境美化運動と交通安全の推進	ごみのない美しい町を目指して	違法投棄状況の収集と対策を協議 ・資源ごみ現状視察 ・ゴミブリホウ酸だんごの配布 ・さわやかロード ・ごみ処理センター視察見学	→ → → →
	交通安全の推進	主な行事 ・交通安全教室の開催 ・通学路の安全点検 ・子ども達の見守り ・県道204号線（山北）歩道増幅計画 10年計画：香川県中讃土木事務所	→ → → →



北淡震災記念公園（施設見学）



さわやかロード実施



資源ごみ現状視察



【体育部】

運動やスポーツで育む

豊かな心と元気な身体

体育部会では、三世代交流事業（スポーツ活動も含む）及び食育活動、地域のまつりを企画開催して、今後は子育てを終え時間的余裕が生まれた世代の参画を積極的に促し、これまで培われた経験や知識を地域活動に活かしていくための体制づくりを進めている。

1 健康づくりを目指して



ペタンク大会

(1) 現 状

- ① コミュニティ組織の構成団体のひとつであるスポーツ協会城西支部の協力を得ながら、地域の自治会やセンター利用者、一般市民を対象に行うチャレンジウィークに参加している。
- ② あらゆる世代と親睦を深めるためバスハイクを行い、健康づくりの一環としている。また、スポーツ協会主催の各種競技大会に参加して、スポーツの普及と健康増進の向上に努めている。



チャレンジ城西
ポールウォーキング（丸亀城内）

(2) 今後の取り組み

- ① チャレンジウィークの参加について自治会を通して積極的に働きかけ、地域交流と健康増進を図る。
- ② スポーツ協会の各種競技大会への参加や地区歴史散策で地域の人々との親睦を図り、「生きがい」とふれあいを体験しながら「仲間・絆づくり」を促進する。



健康体操教室

2 青少年の健全育成を目指して

(1) 現 状

城西小学校PTAが中心となり開催されていた「城西まつり」は、令和5年度に終了しました。自然に親しむ野外活動として「月見の会」は天候不順のため残念ながら中止になってしまいました。

(2) 今後の取り組み

次世代の子ども達に夢と希望を与え、仲間・絆づくりの交流を地域で育み、豊かな心が育成できるよう促進する。また、終了していた「城西まつり」を復活するために城西小学校PTA主導で企画検討し強力にバックアップする。

アクション プラン	具体的テーマ	目 標 （具体的施策）	
		現 状 令和3年度～令和7年度	後 期 令和8年度 ～令和12年度
運動やスポーツで育む 豊かな心と元気な身体	健康づくりを目指して	各種行事 ・ チャレンジウィーク ・ バスハイク ・ スポーツ協会球技大会 （市民体育祭） ・ ペタンク大会 ・ 歴史探訪・散策	➡ ➡ ➡ ➡ ➡
	青少年の健全育成を目指して	主な行事 ・ 子ども達の見守り活動 ・ 月見の会 ・ 城西まつり（令和5年度終了）	➡ ➡ ・ 城西まつり 新体制にて実施



神戸めんたいパーク（バスハイク）



丸亀歴史散策（外堀ウォーク）

【子ども部】

子ども達が楽しく、

安全に過ごせるまちに向かって

子ども部では地域の方々と協力しながら、子ども達が楽しく健全に成長できるよう行事や研修会を実施している。

また、地域の方々とふれあう機会を持つことで交流促進を支援し、子ども達の見守りにつなげていけるよう努力していく。

1 子ども達が楽しく活動できるまち

(1) 現 状

- ① 城西小学校の6年生を対象に1泊2日のミニキャンプを実施し、子ども達が、自発的に楽しめる行事となるよう援助をしている。
- ② 月見の会など地域の方々と楽しく交流する機会を持っている。
- ③ コミュニティ行事に積極的に参加、協力している。
- ④ スポーツ大会にも参加し、子どもたちの健全な育成に努めている。



城西小学校にてミニキャンプ

(2) 今後の取り組み

従来の行事を発展的継続し、明るく楽しい地域社会にする。



2 子ども達が安全に過ごせるまち

(1) 現 状

子ども達の安全を保持するため、少年健全育成研修会を開催し、現状の把握と対策を協議している。

(2) 今後の取り組み

- ① 従来の行事を発展的継続し、地域の方々との協力体制を作っていく。
- ② 子ども達見守り隊の協力も得ながら、各家庭の子ども達・孫達の安全を守るひとりとして下校時の見守りを強化していく。

アクション プラン	具体的テーマ	目 標 （具体的施策）	
		現 状 令和3年度～令和7年度	後 期 令和8年度 ～令和12年度
子ども達が楽しく、 安全に過ごせるまちに向かって	子ども達が 楽しく活動で きるまち	各種行事 ・ミニキャンプ ・月見の会 ・城西まつり（令和5年度終了）	➡ ➡ ・城西まつり 新体制にて実施
	子ども達が 安全に過ごせ るまち	各種行事 ・青少年健全育成研修会の 開催 ・下校時の子ども達・孫達 のために見守りを強化	➡ ➡



丸亀城西軟式野球スポーツ少年団



子ども達見守り隊感謝の集い



ミニバスケットボール大会女子



第3章 計画策定資料など

1. 第28回プルヌス城西文化祭におけるアンケート

第28回プルヌス城西文化祭において、今後のコミュニティ活動をより良いものにしていくために来場者を対象に下記様式にてアンケートを実施しました。

【アンケート様式】

城西コミュニティ 地域活動に関するアンケート

※無理な勧誘はありません。3～5分で終わります

① 年代を教えてください(○をつけてください)

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上

② 現在自治会に加入していますか？

☐ している ☐ していない ☐ 不明

③ 地域活動への関心はありますか？

☐ とてもある ☐ 少しある ☐ あまりない ☐ ない

④ これまでに地域活動へ参加したことはありますか？

☐ 継続的に参加している ☐ 単発で参加したことがある ☐ 参加したことはない

⑤ 関心のある活動は？(複数選択可)

☐ お祭り・イベント運営 ☐ 子ども・教育関連 ☐ 高齢者支援・見守り ☐ 防災・防犯
☐ 環境美化・まちづくり ☐ 広報(SNS・チラシ等) ☐ スポーツ・文化活動 ☐ その他

⑥ ご自身ができそう・やってみたいこと(複数可)

☐ 企画・アイデア出し ☐ 当日運営・裏方作業 ☐ パソコン・スマホ操作 ☐ SNS・写真・動画
☐ 体を動かす作業 ☐ スポーツ指導 ☐ 話し相手・サポート ☐ 特になし

⑦ 参加しやすい関わり方は？

☐ 年1～2回程度 ☐ 数か月に1回 ☐ 月1回程度 ☐ オンライン参加可 ☐ 未定

⑧ 参加しづらい理由(あてはまるもの)

☐ 忙しい ☐ 何をするかわからない ☐ 負担が大きそう ☐ 人間関係が不安
☐ 年齢差が気になる ☐ 興味がない

⑨ 多世代交流でやってみたいこと(複数可)

☐ 子ども×高齢者の活動 ☐ スマホ・IT相談 ☐ 防災・防犯 ☐ 料理・食の企画
☐ 昔遊び・文化 ☐ スポーツ活動 ☐ 特になし



⑩ 今後、案内を受け取ってもよい方のみご記入ください(任意)

お名前: _____ 連絡先(メール/Instagram/電話): _____

※興味のある企画のみご案内します。興味のある分野:

ご協力ありがとうございました。

(1) アンケート調査の概要

近年、城西地区ではマンションや戸建て住宅が増えている。その一方、自治会に未加入の世帯が増えており、今後の地域活動において、従来のように継続できるのか危惧されている。

そこでプルヌス城西文化祭の参加者(次世代の担い手)を対象として、その実態を把握するためにアンケート調査を実施した。

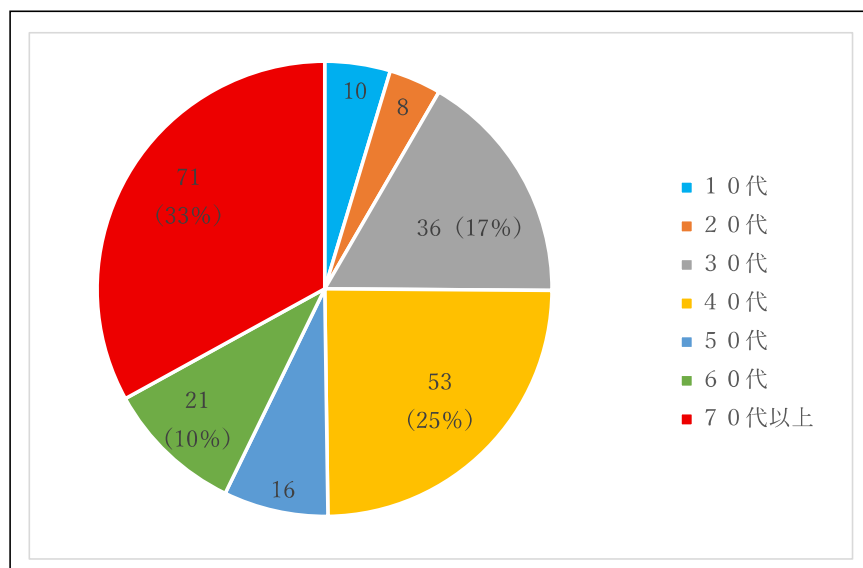
＜調査 期間＞ 令和8年2月15日(日)午前10時～午後3時

＜調査 対象＞ プルヌス城西文化祭参加者 10代～70代以上

＜調査 対象者数＞ 215名

世代数

10歳代	10名
20歳代	8名
30歳代	36名
40歳代	53名
50歳代	16名
60歳代	21名
70歳代以上	71名



回答の多い世代は70歳代以上が多く続いて40歳代、30歳代と続き、期待していた50歳代、60歳代が少なかったのが残念だった。

(1) 集計結果

自治会に加入していますか？ という問いに対して、加入していない方が多く42.8%であった。今後も加入率UPについてコミュニティとして地域活動を通して考えて行かなければなりません。

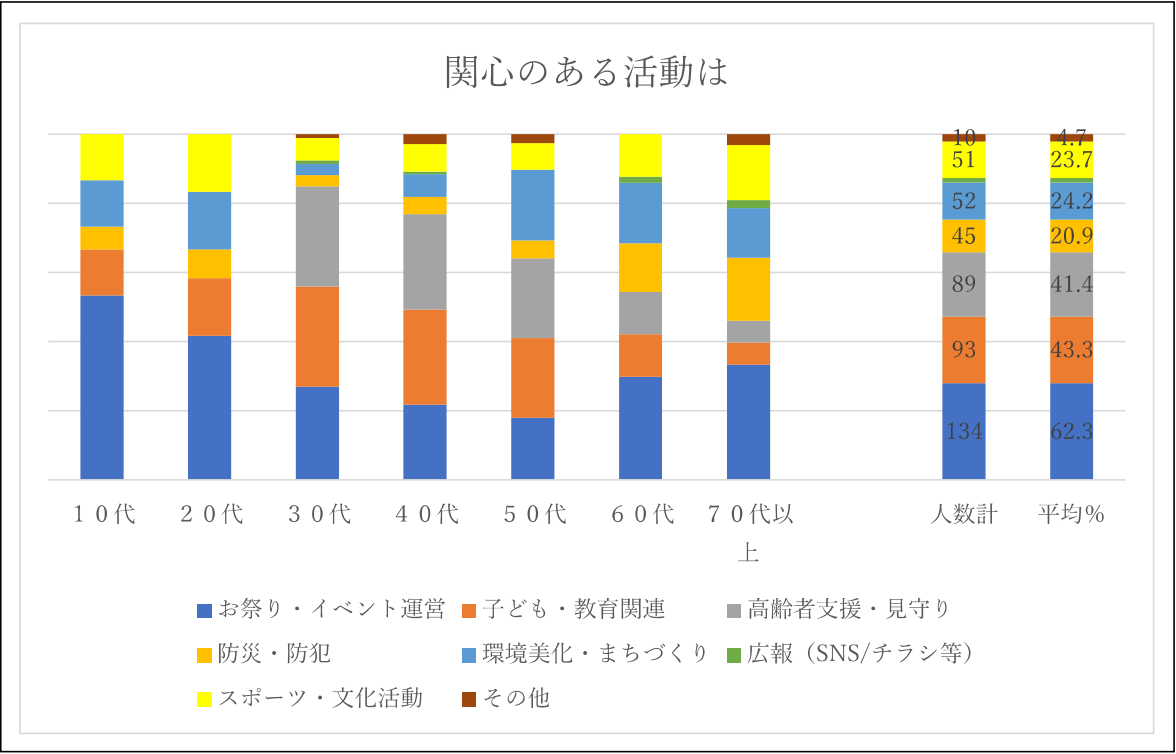
(2) 地域活動の関心度

地域活動の関心度は80%以上の方が関心を示しているので今後もコミュニティ活動に更に参加頂けるような行事・事業の企画・計画・実施を地域の皆様のご意見も聞きながら一緒に検討していきたい。

(3) 地域活動参加体験

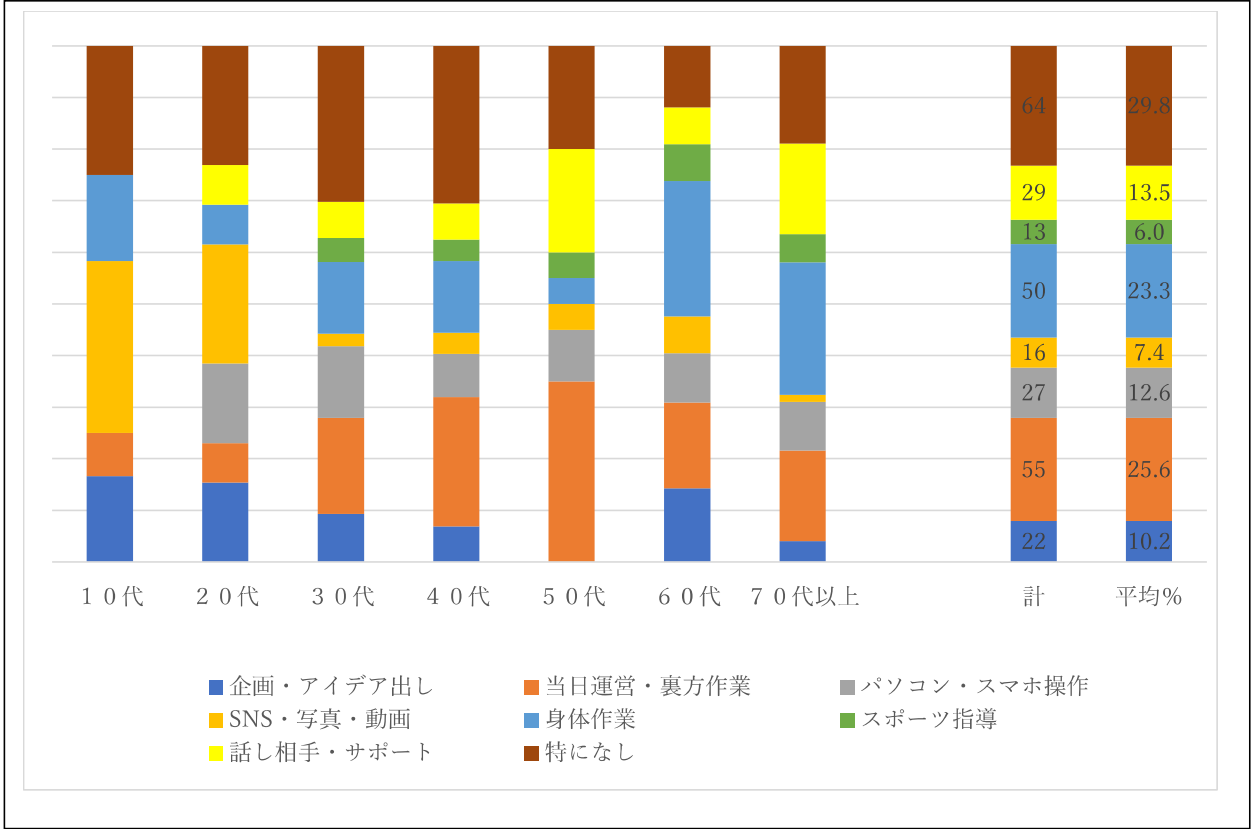
地域活動体験に関しては50%以上の方が参加した回答なので今後ともに地域の皆様がたくさん参加できる行事をこのアンケートをもとに企画・検討していきたい。

(4) 関心のある活動は



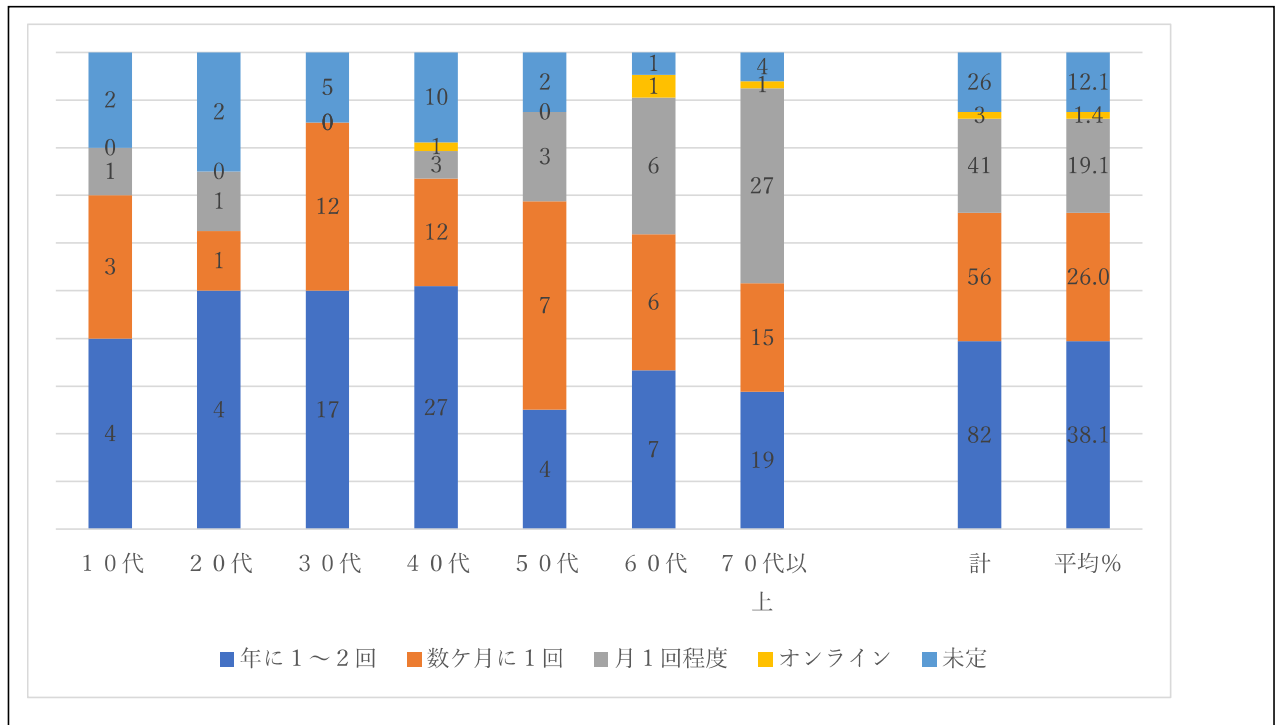
関心のある活動はお祭り・イベント運営が60%以上と一番多く続いて子ども教育関連・高齢者支援・見守り・スポーツ・文化活動・防災・防犯でした。今後地域のお祭りイベント(城西まつり含む)を三世代交流として地域団体とも協力して企画実施していきたい。

(5) あなたがやりたい活動は



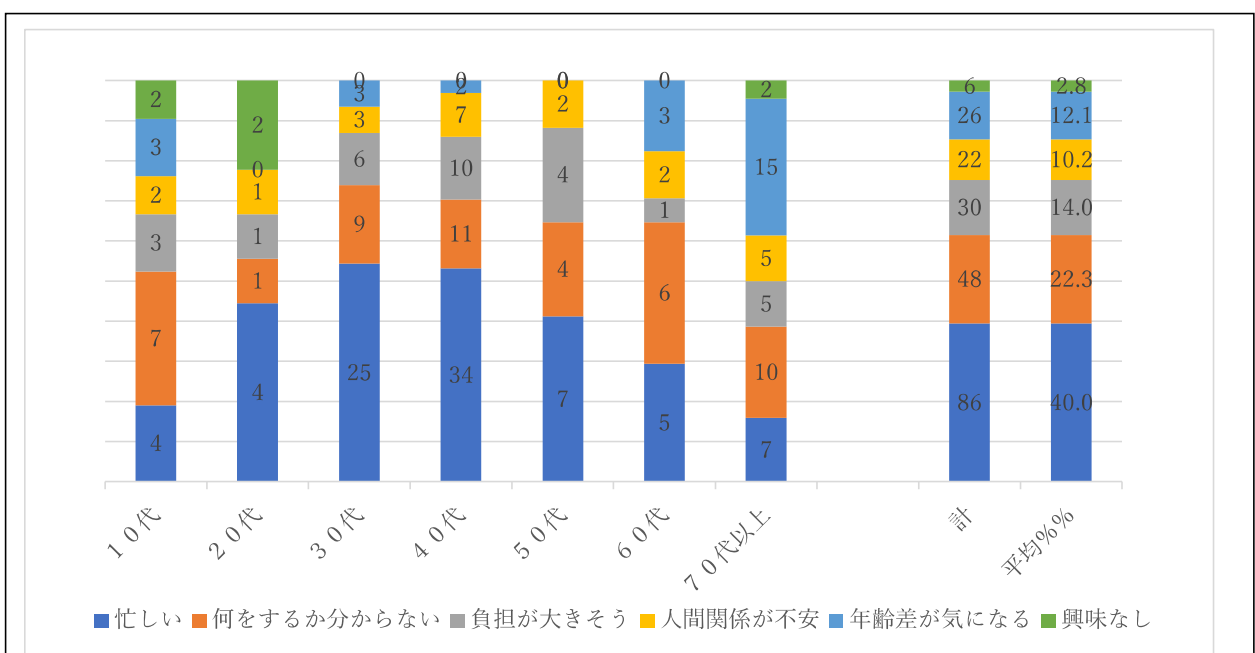
ご自身がやってみたい活動は2割以上が当日運営・裏方作業そして身体作業が続きあと企画アイデア出し・サポート・パソコン作業も1割以上いて頼もしい限りでした。今後も地域で作るコミュニティを目指して活動運営に生かして行きたいと思います。

(6) 参加しやすい関わり方は



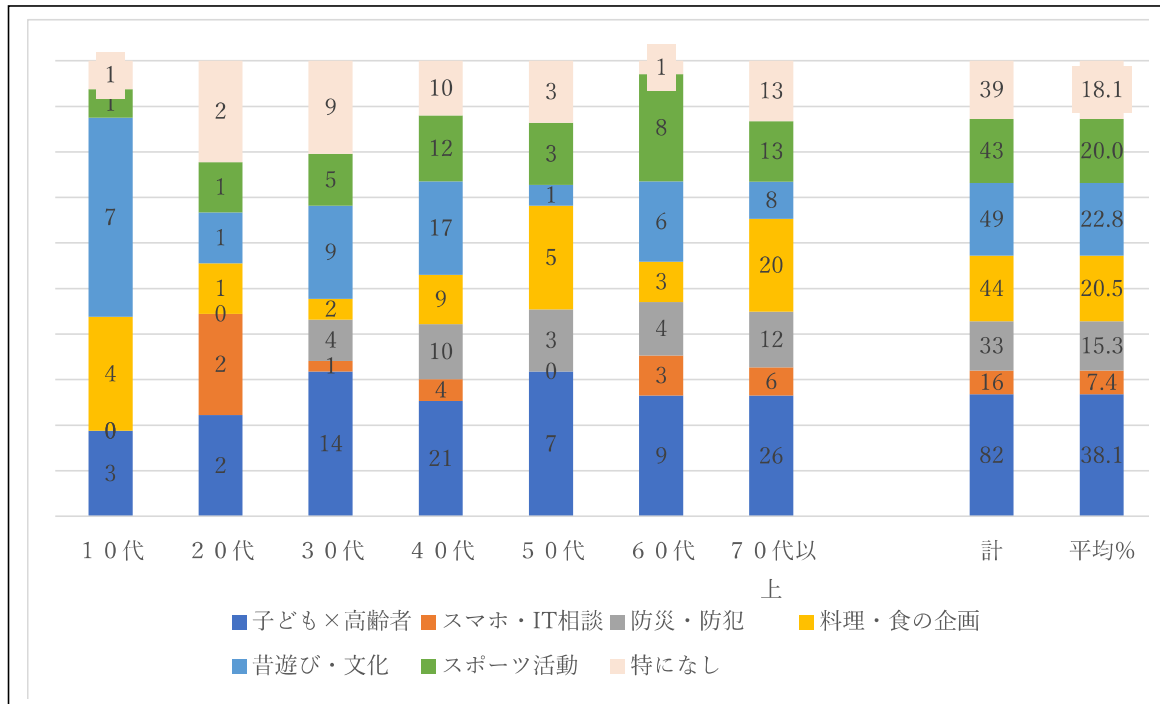
参加しやすい関わり方としては年に1～2回が約4割と一番多く数ヶ月に1回約3割そして2割が月1回でした。この点も踏まえて今後のコミュニティ活動に生かして行きたいと思います。

(7) 参加しやすい理由は



参加しづらい理由として忙しいが40%と一番多く、何をするかわからない、負担が大きそうが続きました。ボランティア協力とは参加できるときに自由に参加して頂けるのが基本です。参加しづらい原因を考慮しつつコミュニティ行事に興味を持ってもらえるよう企画・運営していきたいと思います。

(8) 多世代交流でやってみたいこと



子ども×高齢者が約40%と多くそれに続くものは昔遊び・料理・食の企画・スポーツ活動・防災・防犯の順でした。三世代交流は地域の大切な行事だと思います。今城西まつりの復活が動き出しておりますのでコミュニティもPTAとの協力を得ながら強力に進めていきたいと思っています。そもそも城西まつりは地域のまつりとして伝統のある行事なので三世代交流・地域団体と協力しながら一大イベントとして時代に合ったまつりにしていきたいと考えます。地域の皆様これからもご協力どうぞ宜しくお願いいたします。またアンケート調査においても貴重なご意見もいただき感謝申し上げます。

3. 城西まちづくり計画Ⅱ（後期）

令和8年5月

監查

宮脇 隆 秋山ともえ

大岡隆彦 本城美穂子 田村正幸

総務部	部長 富田 美穂
------------	-----------------

福祉部 部長 田邊 玉喜

保健部
部長
山田 ツヤ子

文化部長 佐野 健

環境部
部長
三木 剛

体育部	部長 一 泰 直井
-----	--------------

子ども部 部長 葛石 竜也

委員	秋山 田邊 ともえ 喜恵
----	--------------

委員
山宮 田川 ツヤ文子

委員
前田 大西 栄子
みどり

委員	内角 田野 俊五 英月
----	-------------

委員	藤田 山 弘 子 昭
----	------------

委員	矢野 昭子
----	-------

委員
井 龜馬
上 井 堀
亜 矢 浩 博
子 二 樹

アドバイザー
小中森
川津西山
理由学校三
子紀校長
(防災士)
(社協)

アドバイザー
黒田 千 絵
(地域担当員)
遠藤 恵 理
(社協)

アドバイザー
(地域担当職員)

アドバイザー
(野口 耕平 地域担当職員)

アドバイザー
(赤松 弘 消防団第2分団長)

アドバイザー
（高木英二）
（木本ツツ子）
（地域担当職員）

アドバイザー
(子秋城佐
ども小い学明
会)と校美
ご頭)

歴史と文化を尊ぶ町

城西まちづくり計画Ⅱ（後期）

発 行 令和８年７月
発 行 者 天守閣のある町城西
編 集 城西まちづくり計画Ⅱ 策定委員会



香川県丸亀市山北町７２２－１
城西コミュニティセンター内
TEL・FAX ０８７７・２５・２２６６



【プルヌス城西】

プルヌス：ラテン語で『梅』の学術名
城西小学校の校章の梅に因む

【シンボルマーク】

お互い手を携えて真に心豊かな
地域社会の実現を目指す